

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所 ナチュファミ		公表日		令和 6 年 2 月 27 日	
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・一人に対する基準スペースは十分取れています。今後も継続して取り組んでまいります。		
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・職員は基準よりも多く配置しております。 ・今後も細かい配慮ができるように努めて参ります。			
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・完全なバリアフリー化ではないが、社会に出た時の生活を考慮して段差のある場所に順応できるように支援を行っています。	・玄関に段差があるのでバリアフリー化にはなっていないが、生活に必要な訓練を行う上で必要な場合もある。 ・玄関のスロープはあるが完全ではない。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・定期的な活動に必要な道具の消毒・毎日の清掃等今後も継続してきます。 ・活動や体調によって部屋を区切ったり開放したりしています。	・活動や合わせて、部屋を区切ったり開放したりしています。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・状況に応じて、パテーションで仕切る・部屋に移動する等工夫しています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・定期的な各部署でのミーティング等で特定の職員だけでなく職員全員が参画できるように時間を設けています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・定期的な面談により関係性の中で意向を発信しやすい状況を作るよう務めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・定期的なミーティングにより意見交換する場面を設けています。意見交換だけではなく、業務改善につながるようなミーティングにしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・第三者委員会を立てていないため、今後取り組めるようにしたい。	・第三者委員会を立てていないため、今後取り組めるようにしたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・職員それぞれの経験に合わせた研修を受けてもらっています。	・法人内での研修をもっと増やしていきたい	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・個々で支援説明をしています。目標設定や計画などその子に応じた内容を作成し、公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・定期的な連携を図り、保護者のニーズや課題を分析し、より良いサービス計画ができるように話し合いを重ねていきます。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・支援に関わる職員全員と児童発達支援管理責任者と一緒に計画、検討する時間を作っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・計画の共有と支援の実施を円滑に行う為に、定期的な会議を開催しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		一定の基準が設けられたアセスメントツール等を用いながら、日々の様子と重ねて確認しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		定期的に関係機関やご家庭との連携による情報共有を行いながら専門のスタッフも一緒に個別の目標をチームで立案し、成長度合いを見ながら計画策定、更新おこなっています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		専門スタッフも踏まえて全員で行っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・半年・3か月置きの活動内容を比較し、固定化しないよう工夫しながらプログラムを作成しています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・こどもの発達や適応能力を向上させるために計画を作成し取り組んでいます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・職員間の役割分担の確認をし必要な調整をします。さらに前日までのこどもさんの状況や変化を共有し支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・職員間で支援の振り返りと次回への改善点等の共有をしている。	・送迎などの業務があり、その日に振り返りが出来ていないが次の日にしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・活動の詳細・こどもの反応や行動・支援の成果や課題を記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・日常の様子の連絡等以外に、定期的に保護者へ連絡をしモニタリングをおこなひ、支援計画の見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・その他の活動は長期休みや利用時間の長い休日を利用して支援を行っています。	・地域交流の機会の提供はコロナ渦から行っていない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・できるだけ子どもに考えてもらう機会を作り、質問しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・こどもの状況をよく理解した職員が、日常の状況について情報収集し、また保護者からの情報記録や観察結果等の準備し会議に参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・学校送迎時、情報を共有している。 ・学校へ時間を作ってもらい連携もしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・移行支援シートをもとに会議の場が設けられない場合は電話などで情報共有をしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・まだ経験していないが今後経験していきたい。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・地域の児童発達支援センターと連携を図り、助言や研修を受けました。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	○	・長期休みなどに機会があるので、今後地域での交流ができるように働きかけていきたいと思っています。	・コロナ渦から行っていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・メール等を通じて保護者への連絡をしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用説明会時に口答で説明していますが、目視でも確認できるようにパンフレットを配布しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・個別支援計画作成時、こどもや家庭のニーズや希望をヒアリングし、計画書の策定を行っています。保護者の意思を尊重し子供に最善のサービス提供につながるよう努めています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・個別支援計画書を作成後、保護者への計画説明を行う時間を作ってもらい、計画書の確認、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・ご家族からのご相談は面談を行い、内容や状況を聞き取り適切に対応できるよう、必要に応じて連携を図り、より具体的な支援策を提案できるように努めています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		・親子活動や保護者の集いで、保護者同士・兄弟同士で交流できる機会を設けています。	・父母の会はないため、年3回保護者の集いや親子活動を行っている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情受付窓口を設置しており、苦情等があった場合はマニュアルに沿って適切に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・通信を毎月発行し概要や情報を発信しています。 ・年間行事や連絡体制等の施設の情報は、年度初めの保護者のついでで説明をしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・従業員契約時、個人情報の流出回避のための誓約書を交わす等、情報書類も鍵付きの場所へ保管し十分に留意して取り扱っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・個別でお話しをする等配慮をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・年6回ナチュカフェを開きリフレッシュや相談できる場所として開催をしています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・年に数回の訓練・研修をしています。 ・マニュアル集は誰でも見れる場所に置いています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・年間での避難訓練を計画実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・事前の聞き取り等をし、どのような対処をしたらいいか確認させていただいています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師の診断書等ある場合は、保護者の許可を得て書類のコピーを保管させていただき職員間で情報共有し対応に努めている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・避難訓練は、地震・火災・感染症等をテーマに年に数回実施をしています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・台風や積雪の天災については、予報と近辺の状況を見ながら、保護者に連絡をさせていただいています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事業所内で共有し、方策を検討し今後につながるよう努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修へ参加し事業所内での共有に努めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		安全や命に係わる状況の場合は身体拘束予防を実施する限りではないことを、契約時や必要な可能性のあるお子さんがいる場合は都度説明を行っている。		